

第1に、「元気のあるまちづくり」として防災対策に取り組んでまいります。

防災情報の伝達手段として、町内全域に防災行政無線の整備を行います。年次計画的な整備となりますが、17年度は、屋外放送施設の整備を予定しています。次年度以降、全世帯に個別受信機を設置し、屋内でも防災情報を受けることができますよう整備を進めます。

本年11月6日に山口県総合防災訓練を周防大島町で実施する計画です。新町としての地域防災計画の策定、山口県で唯一指定地域となっています東南海・南海地震対策推進計画の周知、民間住宅耐震診断、各小中学校の耐震診断を実施します。去年の台風被害の災害復旧を進め、17年度中には被災箇所すべての復旧を完了する予定です。

元気のあるまちづくり



にこにこのあるまちづくり



第2に、「にこにこのあるまちづくり」として、旧町時代からの永年の懸案でありました、一般廃棄物最終処分場及びリサイクルプラザ並びに斎場の建設に着手します。非常にご要望の強い下水道事業につきましては、町内全域を対象に下水道整備の長期計画となります、下水道汚水処理構想の策定を行う予定です。

教育関係では、学校安全対策として、防犯スプレーや防犯ブザーの配布、教育委員会事務局や小中学校教育の充実を図るため指導主事の増員を予定しています。町内には小中学校合わせて23校ありますが、その多くが小規模校です。学校統合の問題については、学校の適正規模、学区、通学の利便性、校舎の耐震性、保護者や地域住民のご意見等、検討すべき課題は多種多様なものがありますが、合併後の今こそ、本格的な検討に入らなければならないと考えています。

第3に、「安心のあるまちづくり」として、現在50床の介護老人保健施設「さざなみ苑」の30床増床に着手します。本施設は、平成12年オープン以来満床で、現在も77名の待機者がいる状況です。高齢者や介護認定者の多くを住民に持つ周防大島町として、リハビリを行いながら在宅復帰を目指す非常に重要な施設であり、多くの関係者から、施設の拡充整備についての要望を受けているところです。また、福祉タクシー拡充、乳幼児医療費単独助成の拡充、脳ドック拡充等保健福祉の充実に努めます。

安心のあるまちづくり

